

令和元年度 肺がん検診の実施結果概要

※20年度データより、対象者数の把握方法を推計対象者による算出に変更した。

推計対象者数＝市町村人口－(就業者数－農林水産業従事者数) 人口はH27年国勢調査結果を利用

※胸部X線検査の受診者数及び受診率については、40～69歳を対象とした数値である。

下段に40歳以上を対象とした数値を参考値として記載。それ以外は40歳以上を対象とした数値である。

※令和元年度の喀痰容器提出者数及び喀痰容器提出率については、

50～69歳の喫煙指数600以上の者を対象とした数値である。

下段に50歳以上を対象とした数値を参考値として記載。それ以外は50歳以上を対象とした数値である。

※檜葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村は、平成27年国勢調査による市町村人口が公表されていないため7町村については、以下の数値を用いている。

①「総人口(4月1日現在)」は、平成31年4月1日現在の推計人口(県統計課作成)による

②「対象者数」は、平成22年国勢調査の人口を用いて算出したものである

1 令和元年度胸部X線検査 受診者数及び受診率(40～69歳)

(表1)

種別	検診対象年齢	平成30年度 (a)		令和元年度 (b)		前年度からの伸び状況 (b-a)	
		受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (%)
集団検診	40～69歳	57,614	20.6	52,907	18.9	▲ 4,707	▲ 1.7
	40歳以上 (参考)	112,909	17.4	109,691	16.9	▲ 3,218	▲ 0.5
施設検診	40～69歳	42,092	15.1	41,242	14.8	▲ 850	▲ 0.3
	40歳以上 (参考)	98,689	15.2	103,080	15.9	4,391	0.7
合計	40～69歳	99,706	35.7	94,149	33.7	▲ 5,557	▲ 2.0
	40歳以上 (参考)	211,598	32.7	212,771	32.8	1,173	0.1

・40～69歳について、受診者数は前年度より5,557名減少した。

・受診率について、前年度より2.0%減少した。

2 令和元年度胸部X線検査 判定区分(40歳以上)

(表2) <上の欄は人数(人) 下の欄は受診者数に占める割合(%)>

	A判定 (読影不能)	B判定 (異常なし)	C判定 (異常あるが精 検不要)	D判定 (肺がん以外 の異常あり)	E判定 (肺がん疑い)	合計
	集団検診	0 0.0%	91,588 83.5%	13,731 12.5%	1,458 1.3%	2,914 2.7%
施設検診	21 0.0%	87,696 85.6%	9,350 9.1%	2,676 2.6%	2,657 2.6%	102,400 100%
合計	21 0.0%	179,284 84.5%	23,081 10.9%	4,134 1.9%	5,571 2.6%	212,091 100%

・B判定(異常なし)が84.5%と最も高く、その他の判定区分の割合は前年度とほぼ同じ傾向にある。

(表3)要精検率・精検受診率(胸部X線検査)(40歳以上)

	平成30年度 (a)		令和元年度 (b)		前年度からの伸び状況 (b-a)	
	要精検率 (%)	精検受診率 (%)	要精検率 (%)	精検受診率 (%)	要精検率 (%)	精検受診率 (%)
集団検診	2.19	85.73	2.66	84.63	0.47	▲ 1.10
施設検診	2.58	86.24	2.58	87.32	0.00	1.08
合計	2.37	85.99	2.62	85.91	0.25	▲ 0.08

・要精検率は集団検診で0.47%増加した。

・精検受診率は集団検診で1.10%減少、施設検診で1.08%増加した。

3 がん発見数・がん発見率(40歳以上)

(表4) 集団・施設検診別(胸部X線検査)

	平成30年度 (a)		令和元年度 (b)		前年度からの伸び状況 (b-a)	
	がん発見数 (人)	がん発見率 (%)	がん発見数 (人)	がん発見率 (%)	がん発見数 (人)	がん発見率 (%)
集団検診	39	0.03	65	0.06	26	0.03
施設検診	45	0.05	45	0.04	0	▲ 0.01
合計	84	0.04	110	0.05	26	0.01

・がん発見率は集団検診で0.03%増加した。

4 陽性反応的中度(40歳以上)

(表5) 集団・施設検診別(胸部X線検査)

	平成30年度 (a)	令和元年度 (b)
集団検診	1.58%	2.23%
施設検診	1.77%	1.69%
合計	1.67%	1.97%

※陽性反応的中度:要精検者数に対するがん発見の割合

5 喀痰容器提出者数及び喀痰容器提出率 50~69歳(50歳以上)

(表6)

種別	検診対象年齢	平成30年度 (a)		令和元年度 (b)		前年度からの伸び状況 (b-a) (参考)	
		喀痰容器 提出者数 (人)	喀痰容器 提出率 (%)	喀痰容器 提出者数 (人)	喀痰容器 提出率 (%)	喀痰容器 提出者数 (人)	喀痰容器 提出率 (%)
集団検診	50~69歳 (H30年度は40 ~69歳)	2,892	173.9	1,450	17.9	▲ 1,442	▲ 156.0
	50歳以上 (H30年度は40 歳以上)	5,707	168.7	3,247	17.7	▲ 2,460	▲ 151.0
施設検診	50~69歳 (H30年度は40 ~69歳)	1,951	49.9	1,685	41.6	▲ 266	▲ 8.3
	50歳以上 (H30年度は40 歳以上)	4,478	48.7	4,232	40.9	▲ 246	▲ 7.8
合計	50~69歳 (H30年度は40 ~69歳)	4,843	86.9	3,135	25.8	▲ 1,708	▲ 61.1
	50歳以上 (H30年度は40 歳以上)	10,185	81.0	7,479	26.0	▲ 2,706	▲ 55.0

※喀痰容器提出数について、令和元年度より50歳以上の喫煙指数600以上の者を集計の対象者としている

6 令和元年度喀痰細胞診判定区分(50歳以上)

(表7) <上の欄は人数(人) 下の欄は受診者数に占める割合(%)>

	A判定	B判定	C判定	D判定	E判定	合計
集団検診	29	3,117	89	5	7	3,247
	0.9%	96.0%	2.7%	0.2%	0.2%	100%
施設検診	67	4,137	23	4	1	4,232
	1.6%	97.8%	0.5%	0.1%	0.0%	100%
合計	96	7,254	112	9	8	7,479
	1.3%	97.0%	1.5%	0.1%	0.1%	100%

・各判定区分の割合は前年度とほぼ同じ傾向である。

(表8)要精検率・精検受診率(喀痰細胞診)(50歳以上)

	平成30年度 (a)		令和元年度 (b)		前年度からの伸び状況 (b-a) (参考)	
	要精検率 (%)	精検受診率 (%)	要精検率 (%)	精検受診率 (%)	要精検率 (%)	精検受診率 (%)
集団検診	0.19	90.9	0.37	91.7	0.18	0.8
施設検診	0.22	40.0	0.12	40.0	▲ 0.10	0.0
合計	0.21	66.7	0.23	76.5	0.02	9.8

※要精検率・精検受診率について、平成30年度は40歳以上の者を集計の対象とし、
令和元年度より50歳以上の喫煙指数600以上の者を集計の対象者としている

7 喀痰細胞診がん発見数・がん発見率(50歳以上)

(表9)集団・施設検診別(喀痰細胞診)

	平成30年度 (a)		令和元年度 (b)		前年度からの伸び状況 (b-a) (参考)	
	がん発見数 (人)	がん発見率 (%)	がん発見数 (人)	がん発見率 (%)	がん発見数 (人)	がん発見率 (%)
集団検診	2	0.04	2	0.06	0	0.02
施設検診	2	0.04	1	0.02	▲ 1	▲ 0.02
合計	4	0.04	3	0.04	▲ 1	0.00

・がん発見率は集団検診は0.02%の増加、施設検診では0.02%減少した。

※がん発見数・がん発見率について、平成30年度は40歳以上の者を集計の対象とし、
令和元年度より50歳以上の喫煙指数600以上の者を集計の対象者としている

8 陽性反応的中度(50歳以上)

(表10) 集団・施設検診別(喀痰細胞診検査)

	平成30年度 (a)	令和元年度 (b)
集団検診	18.18%	16.67%
施設検診	20.00%	20.00%
合計	19.05%	17.65%

※陽性反応的中度:要精検者数に対するがん発見の割合

※陽性反応的中度について、平成30年度は40歳以上の者を集計の対象とし、
令和元年度より50歳以上の喫煙指数600以上の者を集計の対象者としている